第49期（2026年3月期）
第１四半期決算補足資料

STANDARD
TOKYO

アズマハウス株式会社

2025年8月8日

会社概要

会社名	アズマハウス株式会社
英訳名	AZUMA　HOUSE　Co., Ltd.
設立	1977年（昭和52年）5月2日
代表者	代表取締役社長　東　行男
本社所在地	和歌山県和歌山市黒田一丁目2番17号
従業員数	195名（連結284名）
資本金	5億9,676万円
取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：3293）
株主数	3,511名（2025年3月31日現在）　発行済株式数　8,063,400株（2025年3月31日現在）
単元株数	100株　基準日　3月31日・9月30日
事業内容	不動産業、不動産賃貸業、建設業、ホテル業、飲食業、保険代理店業
連結会社	株式会社賃貸住宅センター、株式会社シージェーシー管理センター、 こうこく不動産株式会社、アズマファイナンシャルサービス株式会社

社長挨拶（トップコメント）

当社グループにおける第49期（2026年3月期）（2025年4月1日から2025年6月30日）の業績は、前年同期と比較して減収減益となりました。なお、当初予算に対しては減収増益となりました。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、米国の通商政策、金融資本市場の変動及び中東勢の緊迫化の影響や中国経済の低迷に加え、エネルギー価格や原材料価格は高止まりをしており景気の先行きは不透明な状況が続いております。

不動産・建設事業においては、建設資材の高騰による建築工事費や造成工事費の上昇に加え政策金利の引き上げに伴う住宅ローン金利の上昇により消費に慎重な動きがみられました。そのような環境の中、お客様サービスの向上に努め、高付加価値の住宅の提案や保証内容の見直し検討を行い、お客様の負担を少しでも軽減できるサービスを提供することを最優先事項と考えてまいりました。その結果、セグメント売上については、前年を下回る結果となりましたが、売上予算及びセグメント利益については少し上回る結果となりました。引き続き、住宅支援策も活用し、お客様満足度を高めご紹介のいただける信頼性のある事業運営を心がけてまいります。

不動産賃貸事業においては、不動産・建設事業とのセグメント間シナジー効果を最大限に活かし、お客様ニーズを即時対応することで空室期間の短縮及び入居率の高稼働を実現し、前年及び売上予算を上回る結果となりましたが、セグメント利益予算を少し下回る結果となりました。引き続き、オーナー様一人ひとりとの対話を重要視し、高い入居率を確保するための提案を行い、オーナー様、入居者様の両方がご満足いただける賃貸物件の提供に努めてまいります。

資産活用事業においては、不動産・建設事業で培ったノウハウと不動産賃貸事業でのメリットを活かし、高い入居率を実現した資産物件をご提案し、また、多様な情報チャネルを活用した結果、前年及び売上予算、セグメント利益予算を上回る結果となりました。また、セグメント名称を変更し、土地の有効活用だけではなく、お客様の資産を有効的かつ効果的に利用し、収益性を向上させる提案も併せて実施するため、様々な活用方法を専門家や金融機関との情報交換をはじめフレキシブルな対応に努めてまいります。

ホテル事業につきましては、訪日外国人の需要に加え国内旅行者も増加しており、安定した稼働率を確保しております。また、飲食店舗につきましては、食材原価の高止まり及び更なる上昇、あるいは、物価高騰による外食へのマインド低下などの結果、前年の売上及びセグメント利益を下回る結果となりましたが、売上予算については、上回る結果となりました。予想稼働状況を鑑み、スピーディな価格の設定やお客様ニーズに応じたサービスの提供、原価管理と品質の向上を最優先事項と捉え、お客様満足を徹底的に追及し、新規のお客様だけではなくリピータの獲得に努めてまいります。

私たちは、資材原価や工事費の高騰に加え、住宅金利の上昇に伴い、消費マインドが減退するなか、原価管理を徹底し、お客様満足の向上を追求してまいりました。すべての事業セグメントにおいて、お客様一人ひとりのご意見やご要望を聞き、スピーディーに対応させていただくことで、お客様サービスの向上を促進し、お客様に寄り添える企業を目指してまいります。また、地域社会の発展に貢献するため共催や協賛をはじめ、様々なかたちで支援ができるように努めております。地域の皆さまに愛され、信頼される企業であり続けられることを事業のマテリアリティとして、あるいは、ミッションとして考えております。

引き続き、皆さまの温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

アズマハウスは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

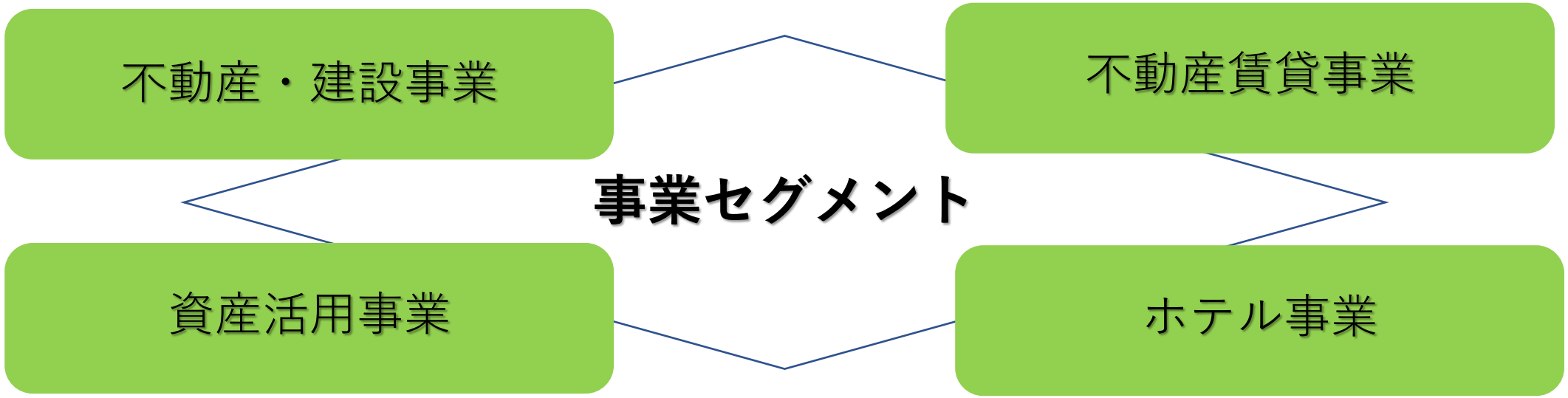
事業概要

～経営理念～

私たちアズマハウスは、全ての分野において「**より大切に、より迅速に、すべてはお客様のために**」をモットーに、商品の品質・性能・お客様への対応・サービスの向上は無限と考え、徹底してこだわり、お客様満足を徹底的に追及していく所存であります。

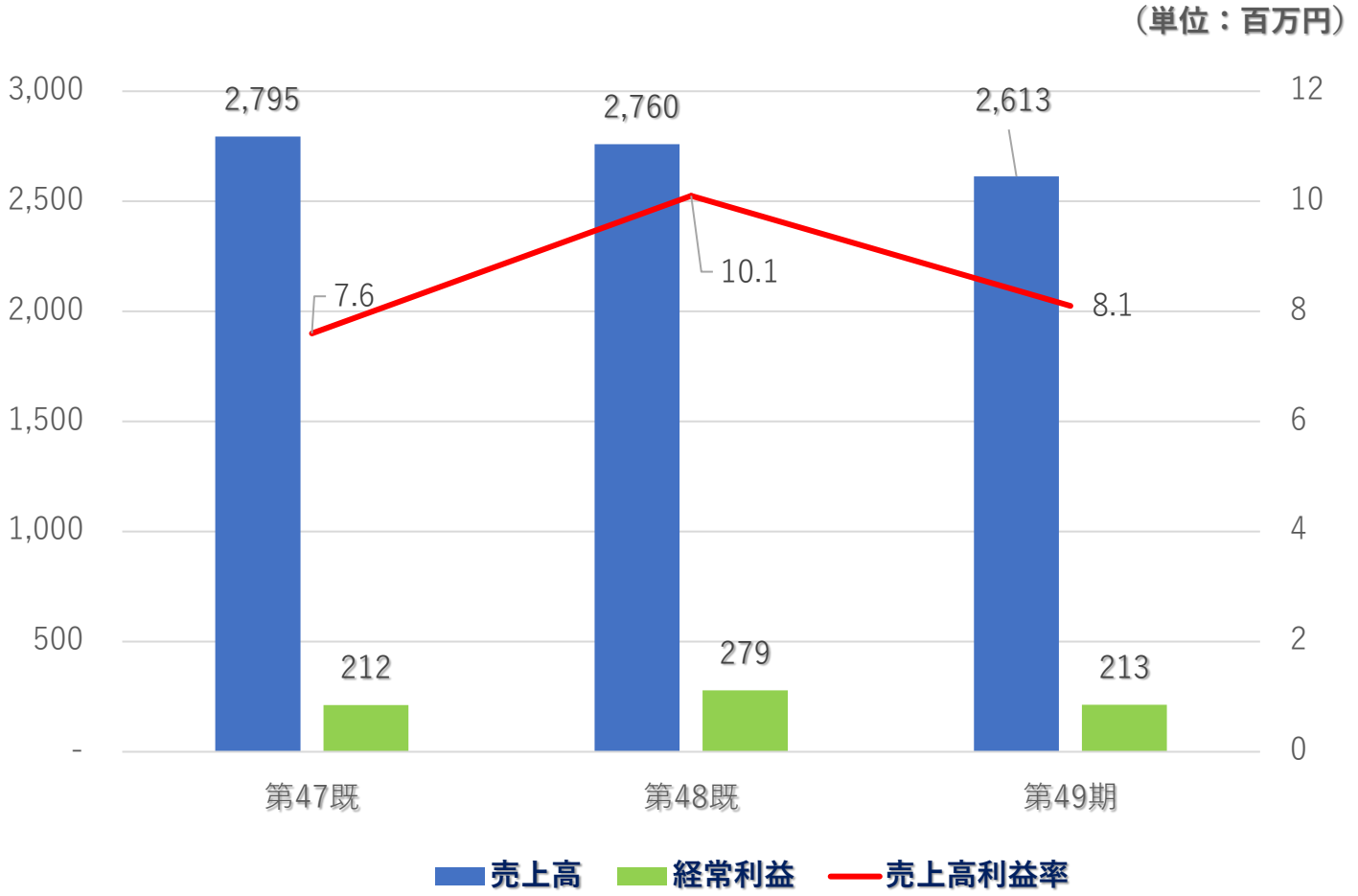
～サステナビリティ基本方針～

「人も環境も健康に」



連結決算（サマリー）

売上高・経常利益・売上高利益率の推移



第49期売上目標　12,920百万円
（第1Q：2,570百万円）

第49期経常利益目標　1,180百万円
（第1Q：225百万円）

売上高　2,613百万円
（予算比101.67%）

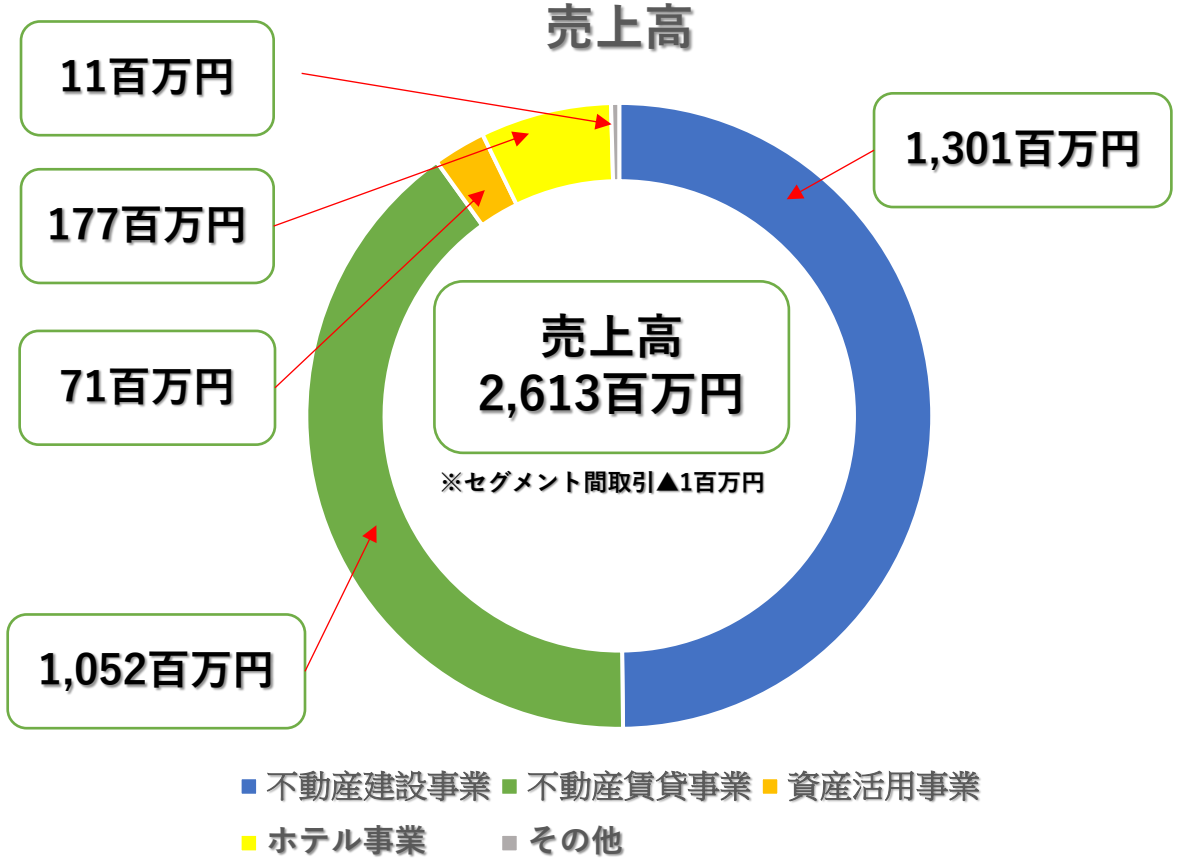
経常利益　213百万円
（予算比94.66%）

売上高利益率
8.1%
（目標8.0%）

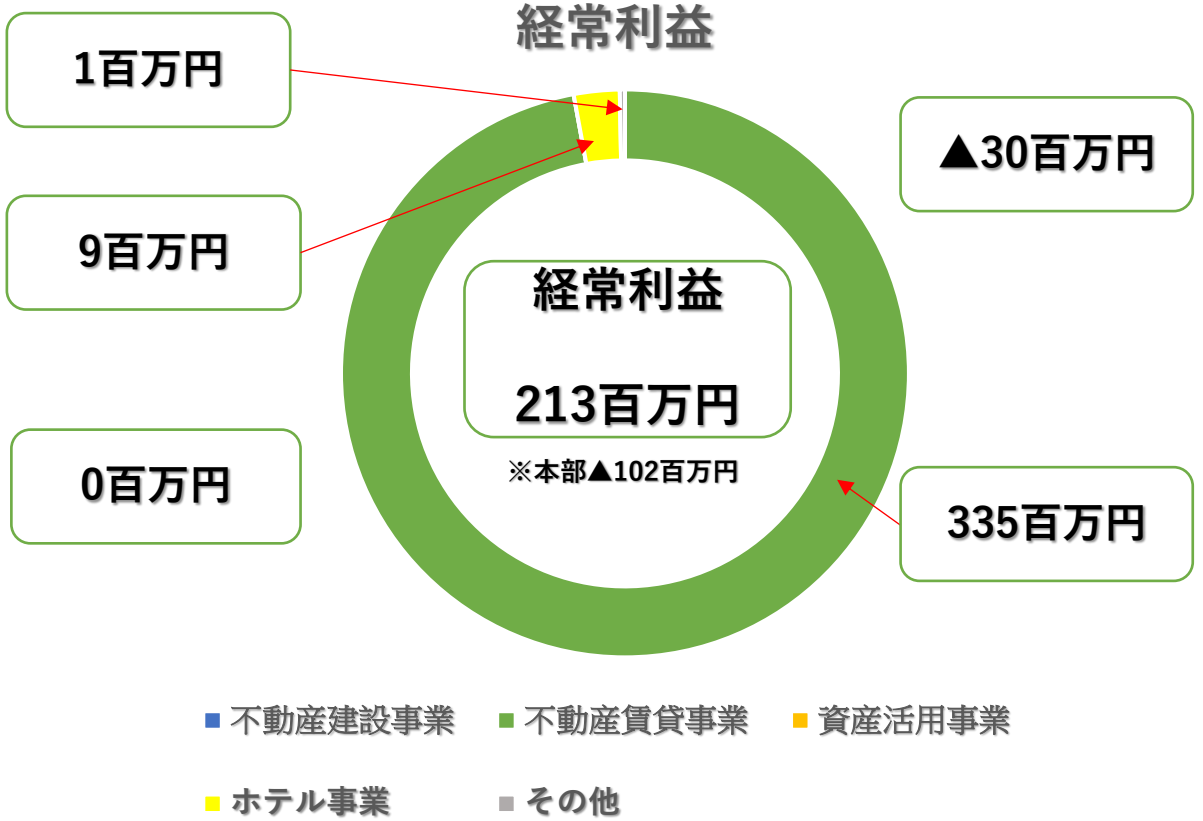
連結決算（セグメント比）

※セグメント売上及び利益は、セグメント間取引を含んでいます。

売上高



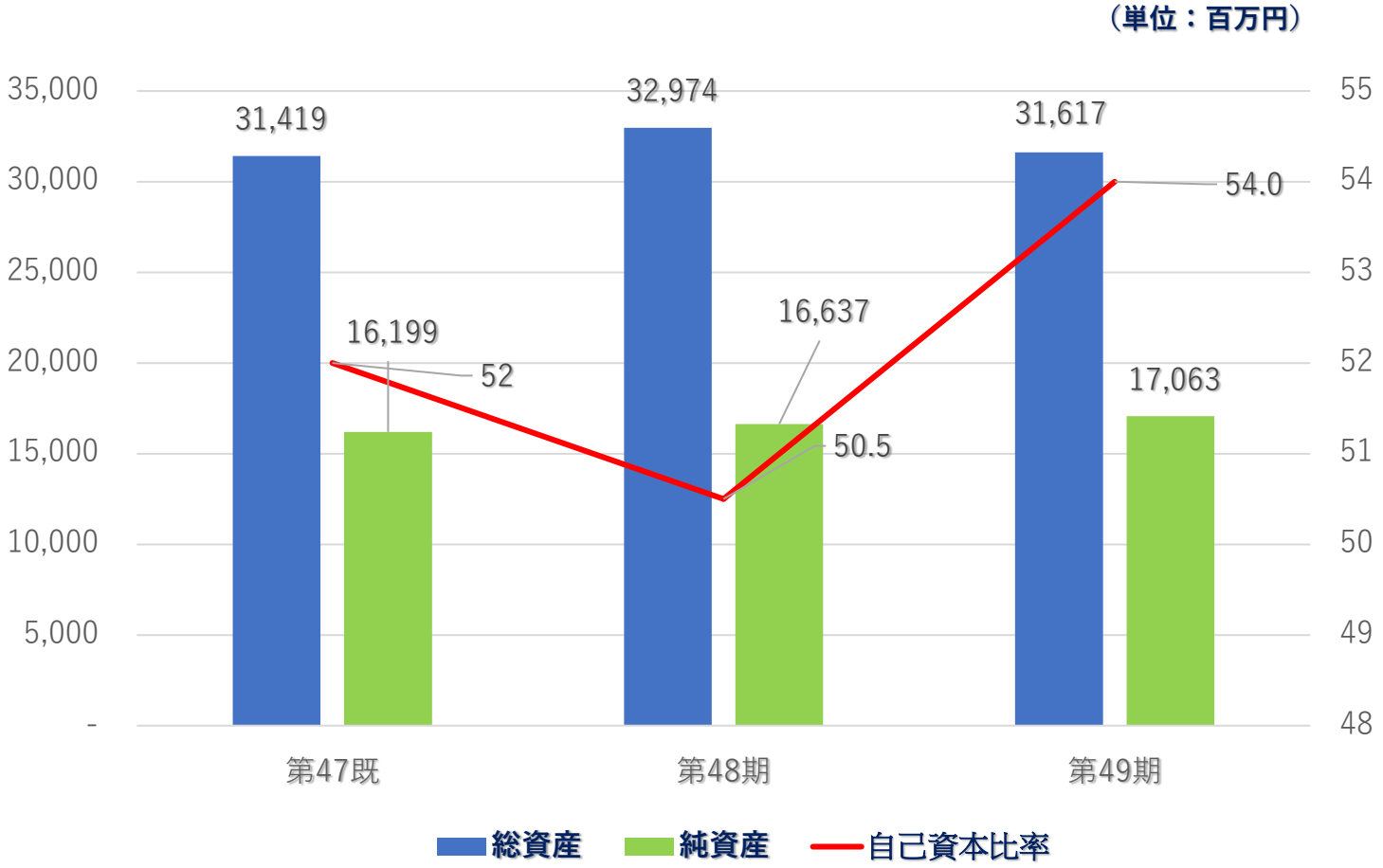
経常利益

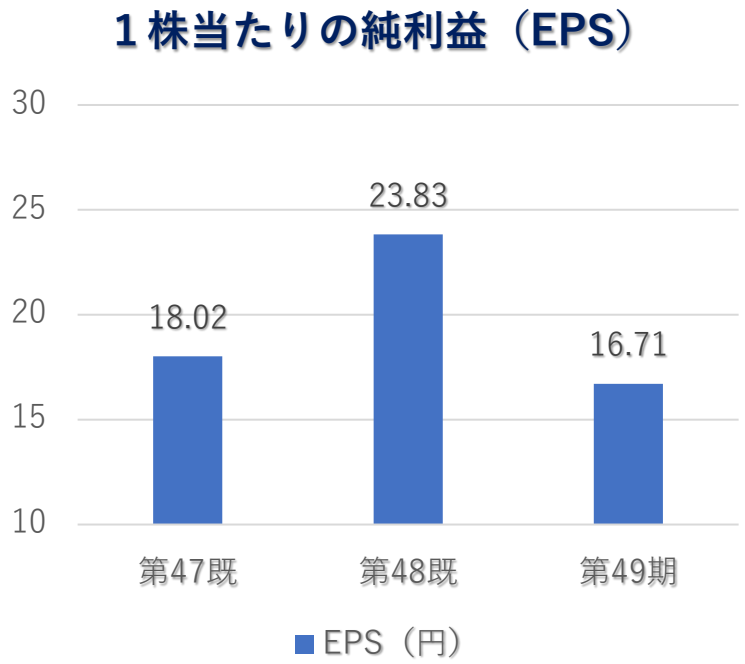


※本部は、セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費です。

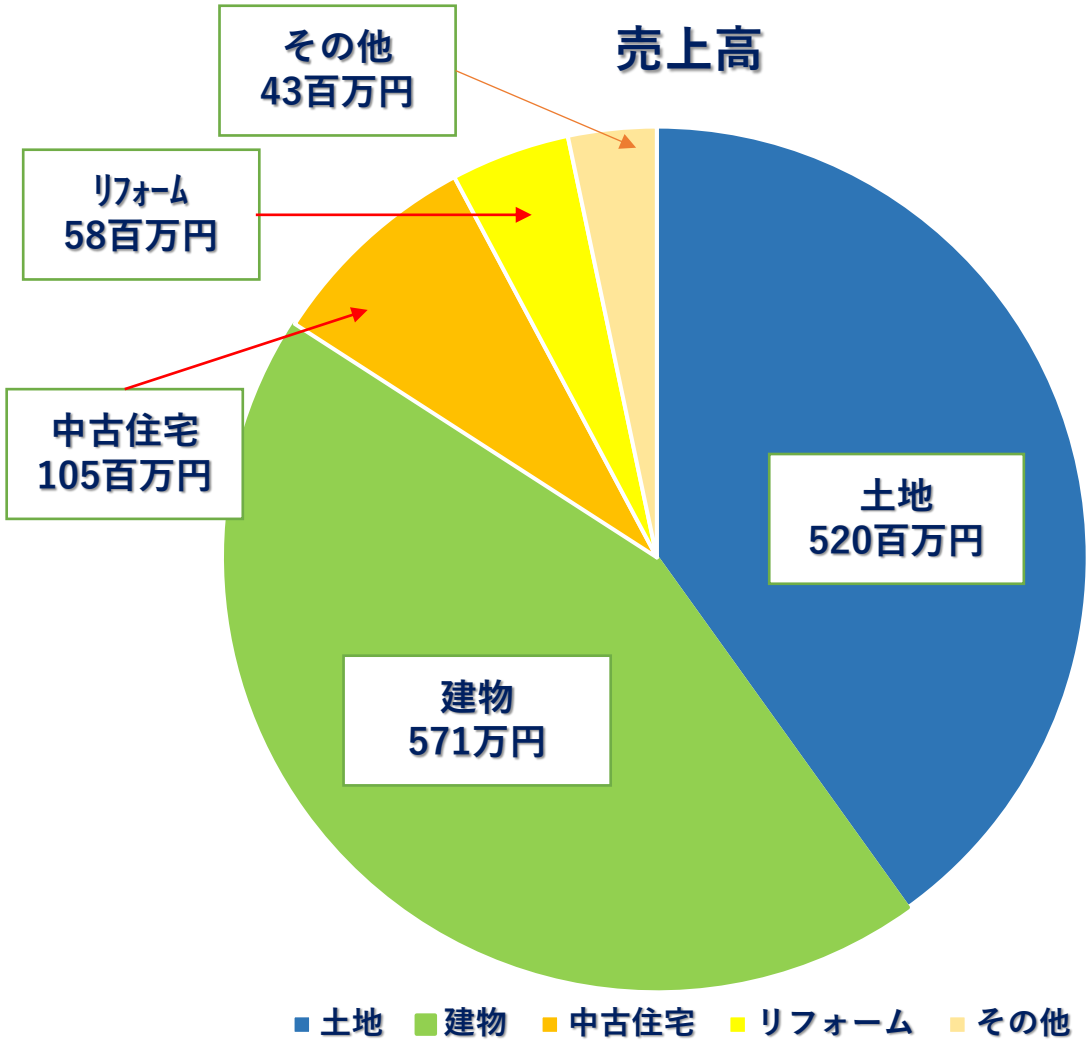
連結決算（サマリー）

総資産・純資産・自己資本比率の推移



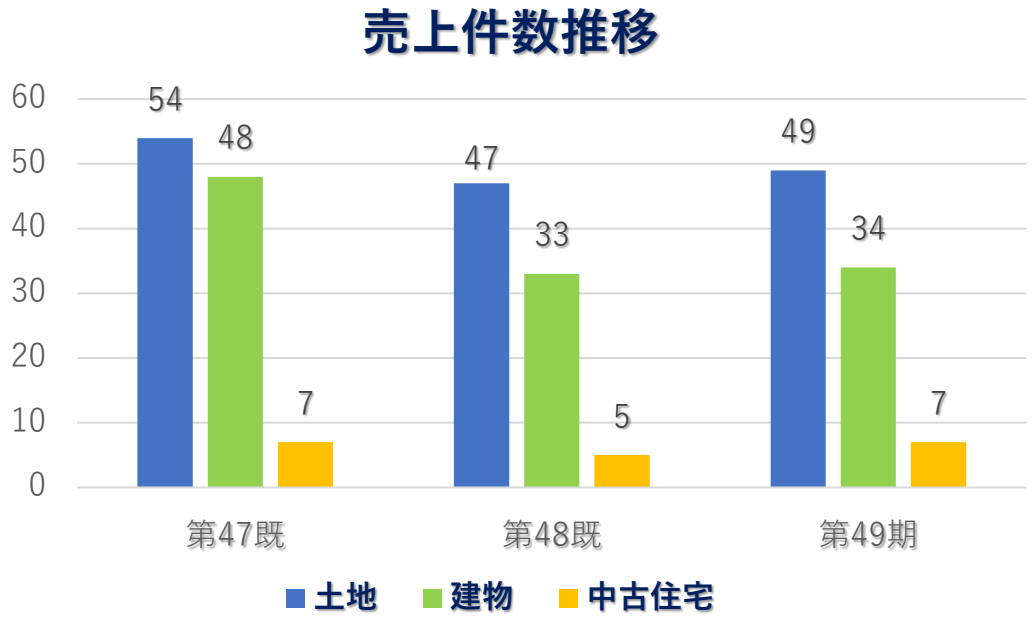


セグメント別実績（不動産・建設事業）



セグメント売上高1,301百万円
（第1Q：1,287百万円）
（前年同期比86.8%：予算比101.0%）

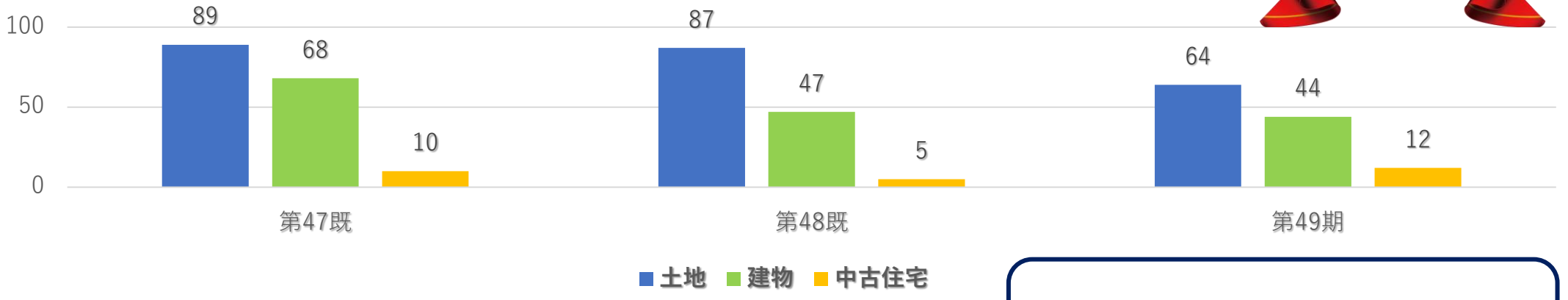
セグメント損失　30百万円
（第1Q：▲26百万円）
（前年同期はセグメント利益37百万円：予算比115.38%）



セグメント別実績（不動産・建設事業）

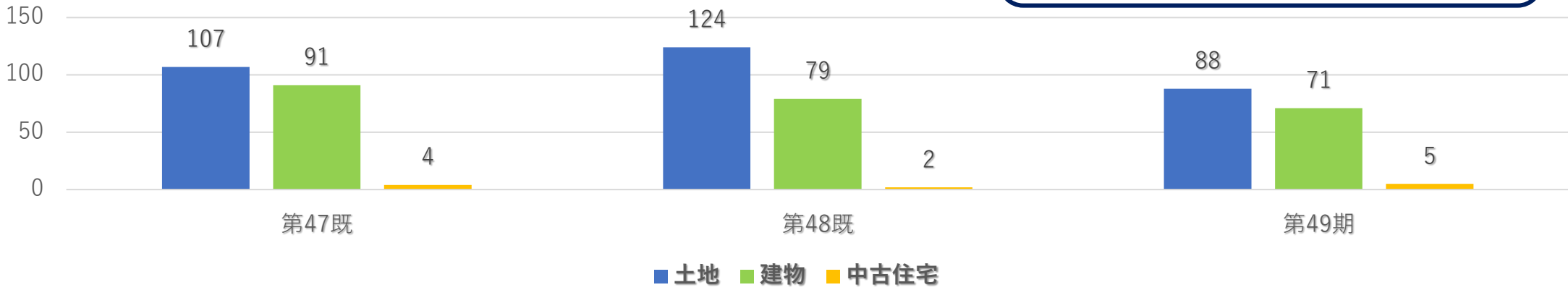
受注件数・受注残件数推移

受注件数の推移



受注残額は、前年比94.5%

受注残件数の推移

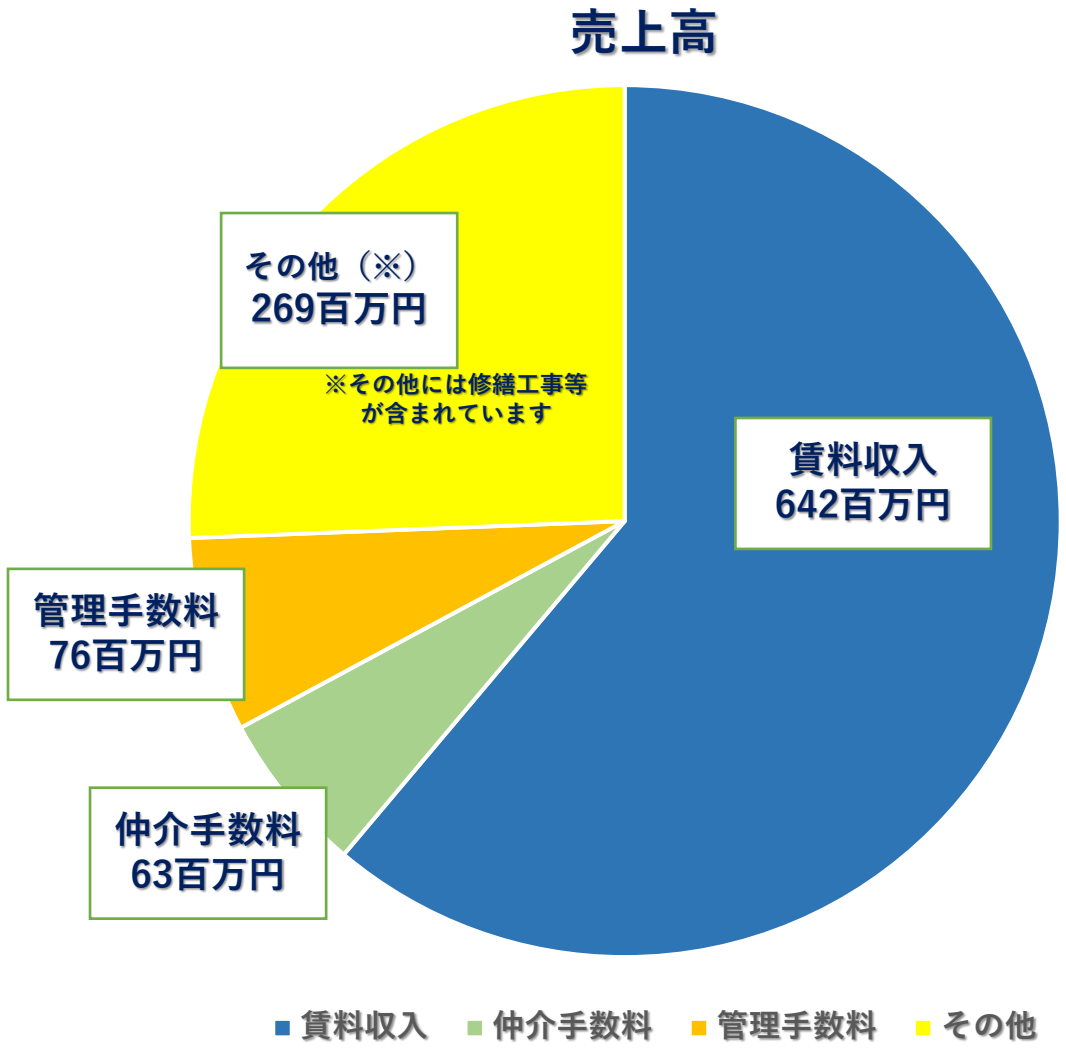


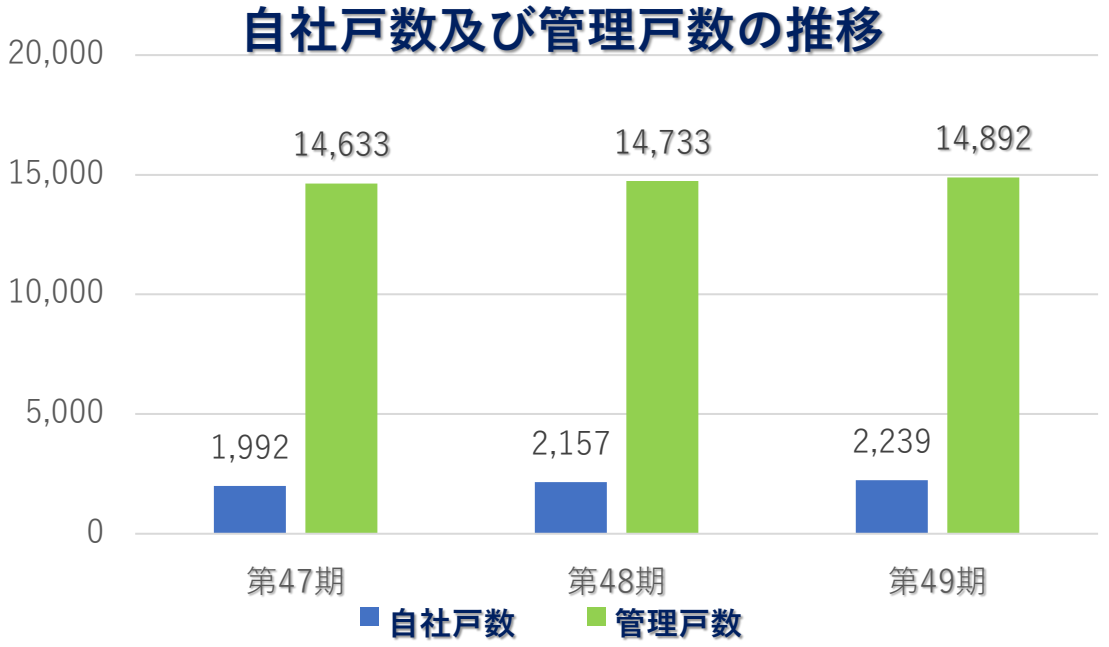
セグメント別実績（不動産賃貸事業）

自社入居率　97.07%

セグメント売上高　1,052百万円
（第1Q:1,045百万円）
（前年同期比102.6%：予算比100.67%）

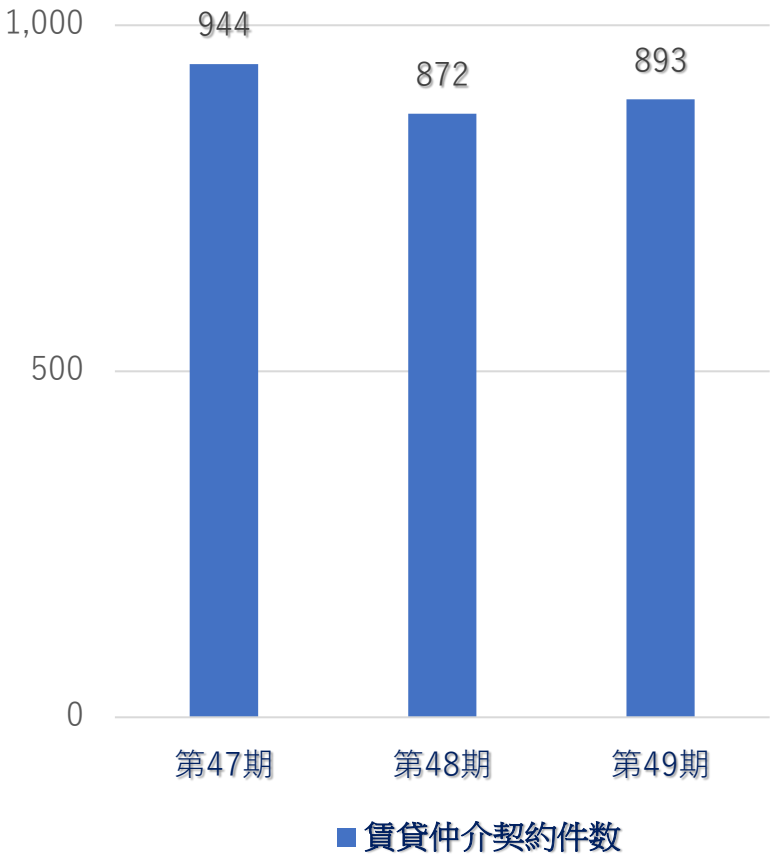
セグメント利益　335百万円
（第1Q：337百万円）
（前年同期比105.3%：予算比99.40%）





セグメント別実績（不動産賃貸事業）

賃貸仲介契約件数の推移



アイワグループ

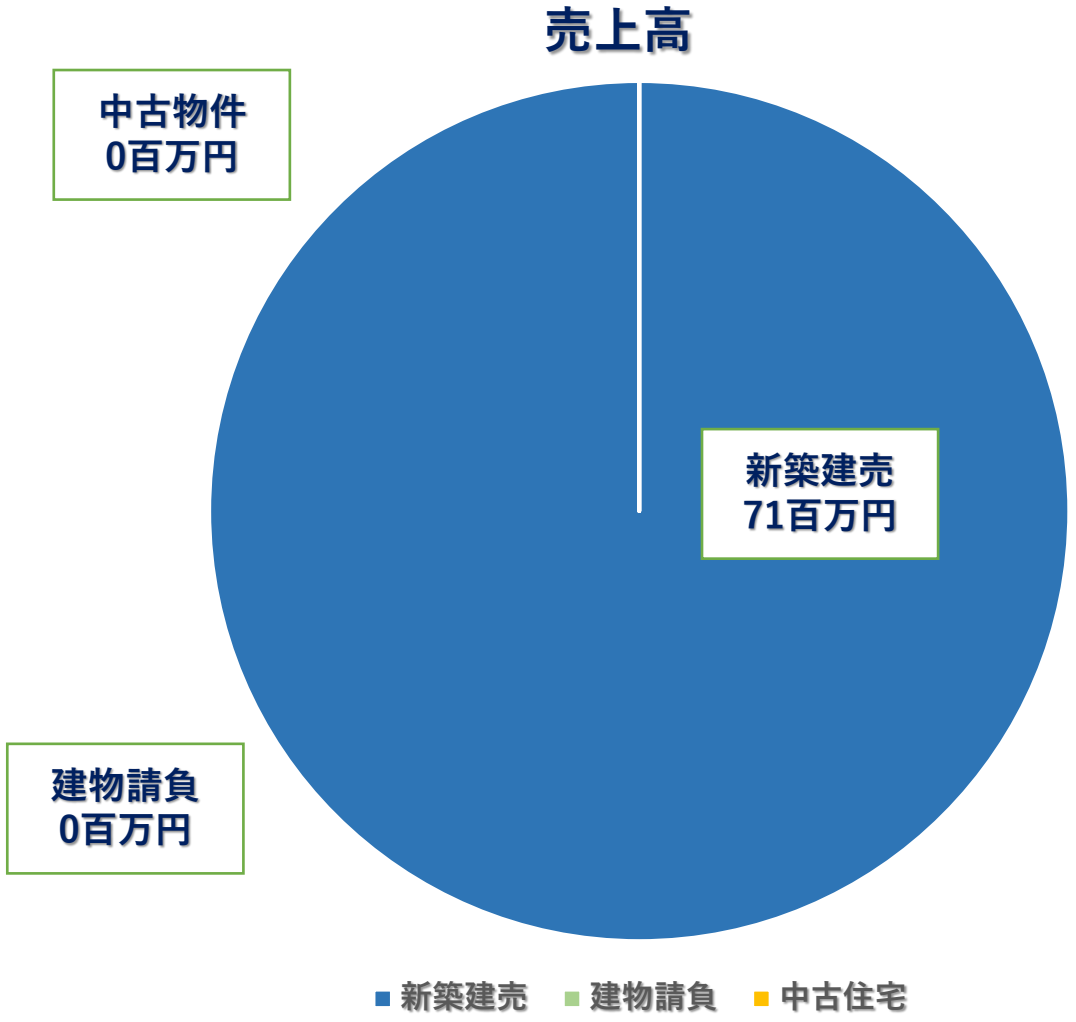
管理物件入居率
85.43%

Alliance　Information

和歌山県職員労働組合/和歌山市職員互助会/和歌山県農協連専属提携/和歌山大学生協専属提携/県立医科大学生協専属提携/近畿大学生物理工学部指定/高野山大学専属指定/和歌山信愛大学専属指定/東京医療保険大学和歌山看護学部専属指定/和歌山信愛女子短期大学専属指定/宝塚医療大学和歌山保健医療学部/和歌山リハビリテーション専門職大学/県立高等看護学院/大原学園和歌山校/和歌山コンピュータービジネス専門学校/和歌山国際厚生学院/和歌山英数学館/和歌山YMCA国際福祉専門学校/和歌山口頭美容専門学校/IBW美容専門学校（順不同）

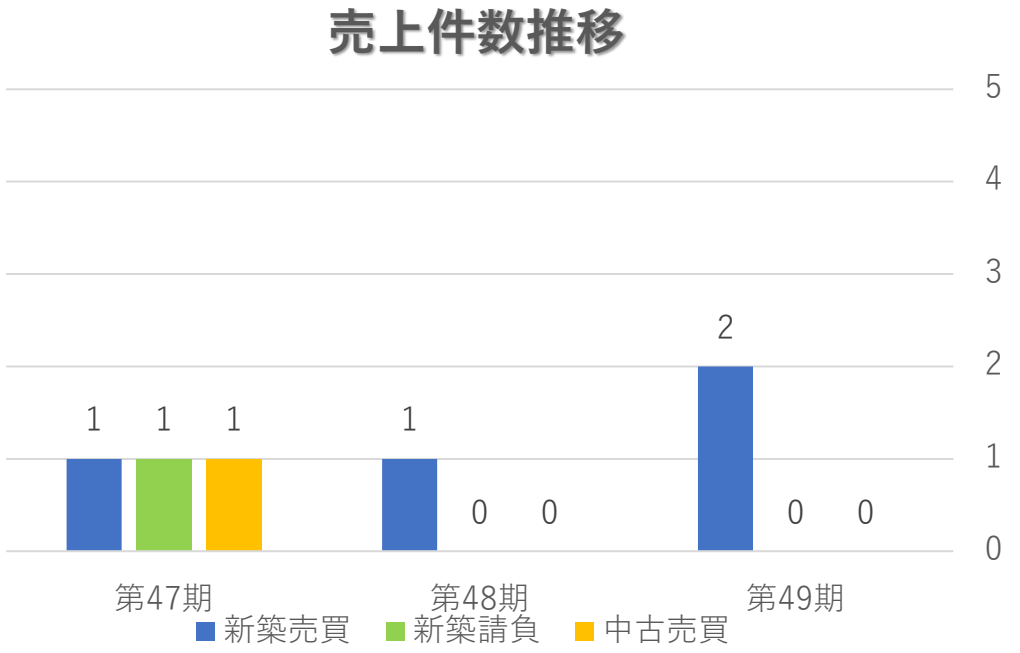
セグメント別実績（資産活用事業）

売上高・売上件数

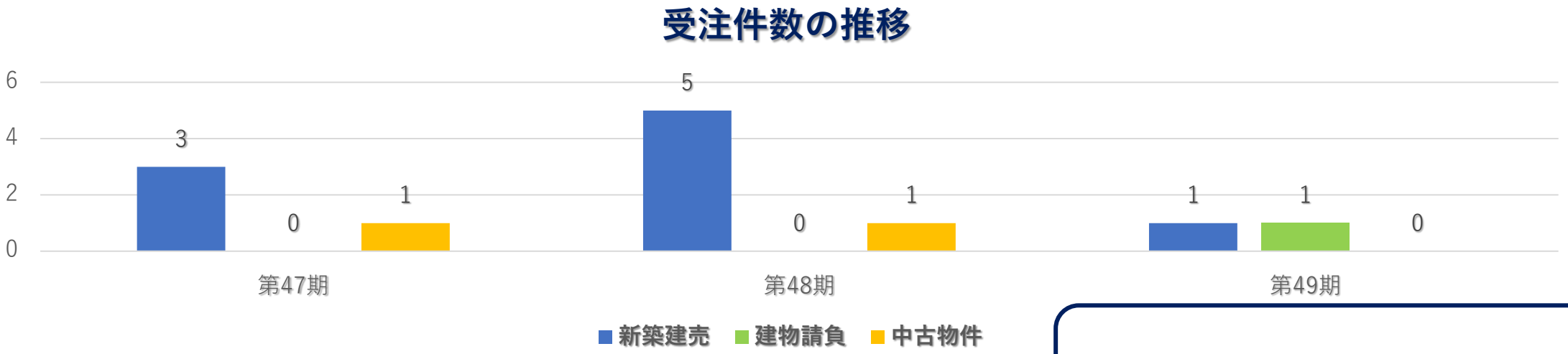


セグメント売上高　71百万円
（第1Q：49百万円）
（前年同期比198.2%：予算比144.9%）

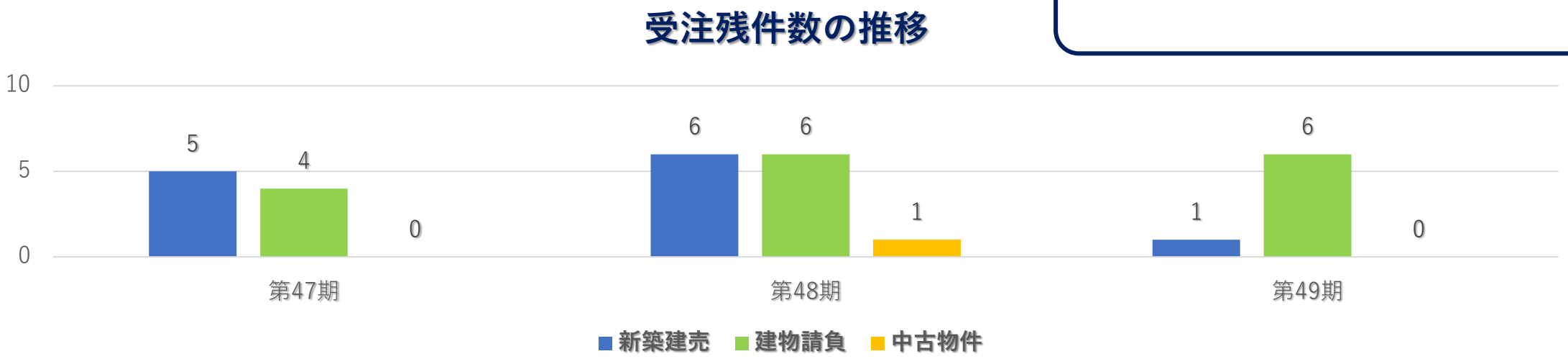
セグメント利益　0百万円
（第1Q：▲2百万円）
（前年同期はセグメント損失2百万：予算比－%）



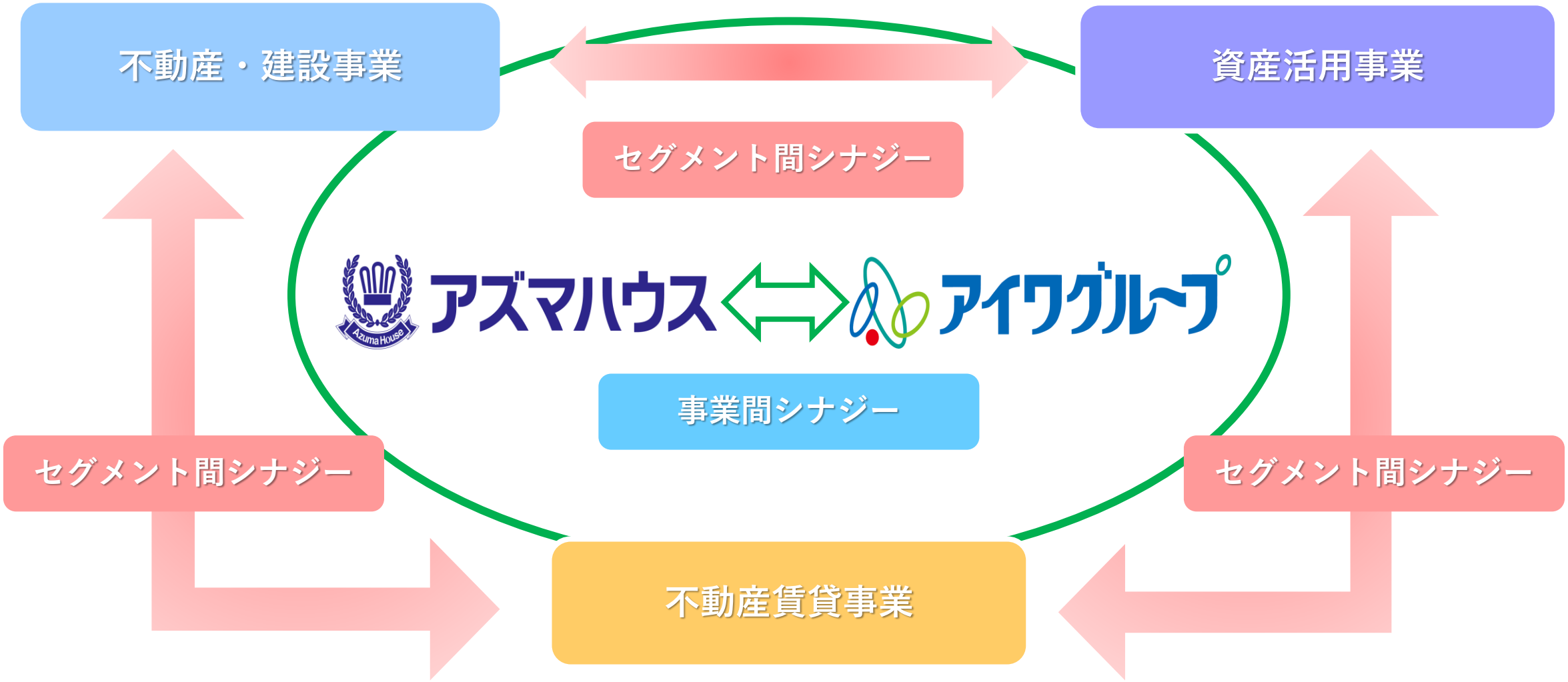
セグメント別実績（資産活用事業）



受注残額は、前年比79.22%



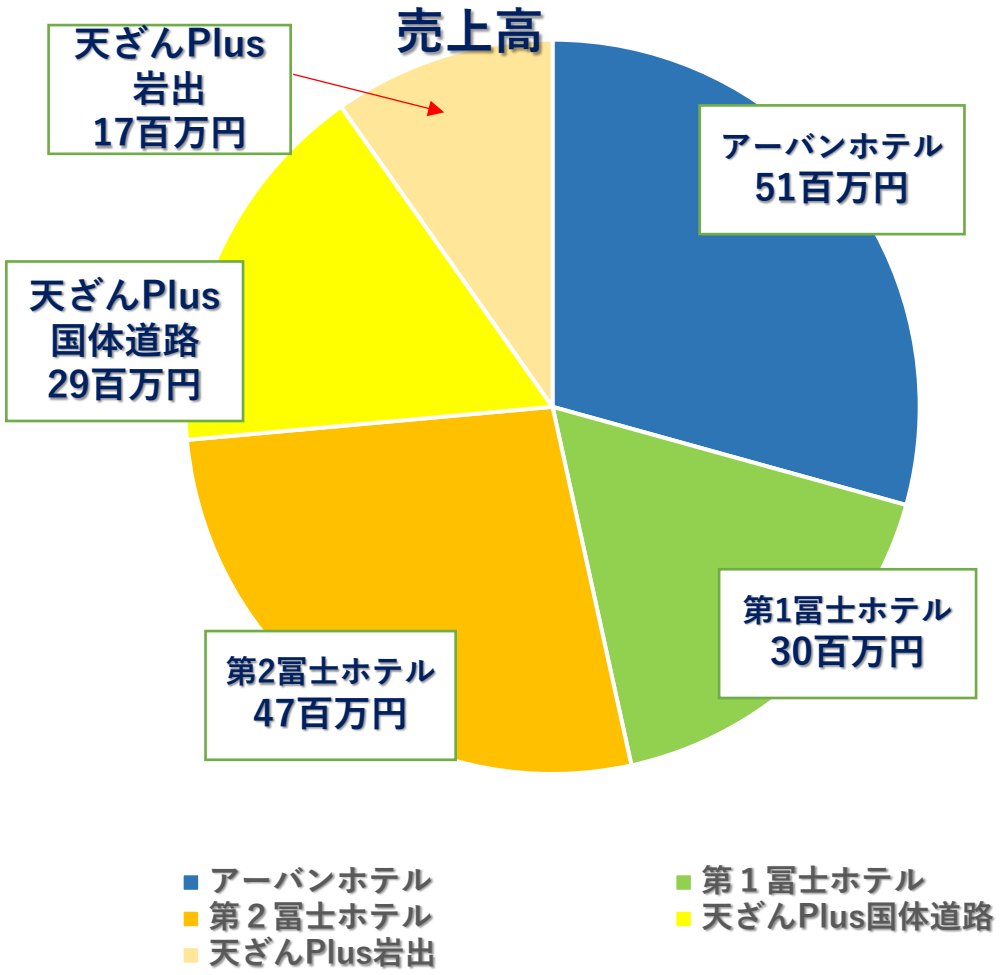
セグメント間シナジー

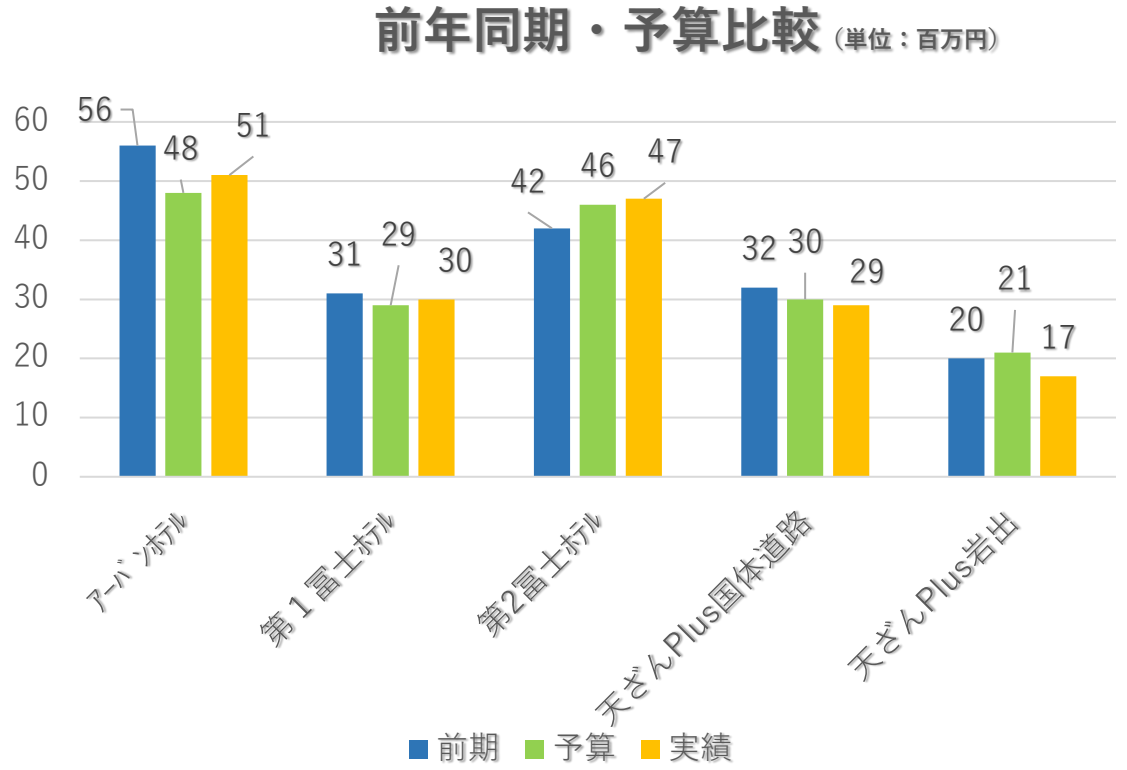

不動産・建設事業
資産活用事業
セグメント間シナジー
アズマハウス
アイワグループ
事業間シナジー
セグメント間シナジー
セグメント間シナジー
不動産賃貸事業

セグメント別実績（ホテル事業）

セグメント売上高　177百万円
（第1Q：175百万円）
（前年同期比96.4%：予算比101.14%）

セグメント利益　9百万円
（第1Q：15百万円）
（前年同期比33.1%：予算比60.0%）





ESG	マテリアリティ	取組テーマ	取組内容	SDGs
Environment	住み続けられるまちづくり	リノベーションによる長く住み続けられる家づくりを通じて、社会課題となっている空き家増加の解決に取り組み、住み続けられるまちづくりに貢献	中古住宅再生事業、ストック事業の推進	
	住環境の向上	高水準な性能等級を有する住宅の建築やリノベーションなどによる性能向上を通じて住宅の耐震性能、省エネ性能、断熱性能を向上し、環境にも健康にもやさしく、長く住み続けられる家づくりを実践	耐震等級３レベルを実現した地震に強い家づくり、環境にやさしい太陽光発電の販売促進、断熱性向上によるヒートショック等の健康被害防止	
Social	地域社会への貢献	地域社会の活性化に関連するイベントなどを通じ、雇用の促進や青少年育成のための支援活動を積極的に取り組み、持続的な地域社会の構築に貢献 パートナーシップ構築宣言	こども食堂の運営、学童軟式野球大会の特別協賛、全日本ドッジボール選手権和歌山県大会の特別協賛、一般社団法人和歌山県サッカー協会オフィシャルスポンサー、「アルテリーヴォ和歌山」プラチナスポンサー、「ONELYS wakayama」オフィシャルパートナー、「和歌山ジャズマラソン」協賛、「和歌山城クリテリウム2025」の協賛、和歌山大学ソーラーカープロジェクト(BWSC2025)の協賛、「和歌山ではたらく車 大集合！」メインスポンサー、日本赤十字社の活動支援、宇宙事業及び宇宙教育活動への支援、ドリームデイ・アット・ザ・ズー2025inアドベンチャーワールドの協賛、パートナーシップ構築宣言、第49回全国育樹祭の協賛	
Governance	人権	ハラスメント禁止や働き方改革の実践により生産性向上を図りながら働きやすい職場環境づくりの取り組み 2025 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 中小規模法人部門	「わかやま健康づくりチャレンジ運動」への参加、「健康経営優良法人2025（中小規模法人）」の認定、「あいサポート企業」の認定、男性・女性社員にかかわらず育児休業を取得できる体制づくりと推奨、小学校就学前の子を養育する社員の時間短縮勤務、半日単位での有給休暇制度の整備、一般事業主行動計画の策定、コーポレートガバナンス、コンプライアンス	

記載情報について

・本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
・本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
・将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識されたうえで、ご利用下さい。
・本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、お客様自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

本資料に関するお問い合わせ
アズマハウス株式会社　経営企画部
電話　073-475-1018
E-Mail：ir_kanri@azumahouse.jp
URL：https://azumahouse.com